

事業再評価シート

事業名	総合流域防災事業(大淀川圏域)		
箇所名	一級河川大淀川水系横市川	市町村名	都城市

(上段は前回、下段は今回)

実施方法	補助 交付金 県単			
事業期間	採択年度	再評価年度	完了予定年度	
	H7	H21	H31	
		H26	H36	
事業進捗	全体事業費 (百万円)	既投資額 (百万円)	進捗率(%)	
	3,539	2,340	事業費	
			用地	
6,472	3,882	66.1	97.0	
再評価の概要	対象選定理由		事業効果(B/C)	対応方針原案
	再評価後5年経過		3.12	継続
	再々評価後5年経過		1.13	継続

全体計画

横市川では、流下能力の低い区間があり、平成2年に浸水家屋数2戸、浸水面積約105haの浸水被害が発生した。

このため、横市川下流端の大淀川合流点付近の源野橋から加治屋頭首工下流までの4.03km区間において、平成7年から河川改修事業に着手している。

これまで、源野橋から出水橋の約2.1km区間の整備が概ね完了している。

大淀川水系河川整備基本方針：平成15年2月4日策定

大淀川水系河川整備計画：平成18年3月22日策定

事業概要

源野橋から加治屋頭首工下流までの区間について、主に河道拡幅や堤防設置を実施し、流下能力の向上を図る。

改修延長 L=4,030m

総事業費 6,472百万円

計画規模 860m³/s：源野橋(概ね30年に1回程度発生する洪水規模)

事業内容 河道拡幅や堤防、護岸、樋門・樋管の整備等

事業目的

対象事業の目的、必要性

横市川では、流下能力の低い区間や無堤区間において洪水が氾濫し、人家および田畑で浸水被害を被っていることから、流域住民からも早期改修の要望が強く、治水安全度を早期に向上させる必要がある。

計画での位置付け

横市川の改修計画は、平成18年3月22日に策定した大淀川水系河川整備計画に位置づけられている。

他事業との関連性・事業による効果

平成5年度から平成20年度まで実施された県営横市地区圃場整備事業と連携することで、用地の確保を実施している。また、河川改修による掘削残土について、都城志布志道路と調整することにより有効活用等を行うことができ、事業の円滑化が図られている。

事業を継続する必要性

源野橋より2.1kmの区間については、暫定掘削により一定の流下能力が確保されているものの、平成16年の台風16号時に浸水面積約40haの浸水被害が発生する等、改修区間上流部では依然として流下能力が低いことから、河川改修を引き続き実施する必要がある。

事業の進捗状況

現在の事業進捗、整備効果の発現状況

平成21年度迄に源野橋より2.1kmの区間について、暫定掘削により流下能力の向上が図られており、その後、平成26年度迄に当区間の樋門、護岸工及び出水橋架け替えを行い、河川改修の効果が発揮された。また、用地買収は、圃場整備事業と連携して、概ね完了している。

今後の事業進捗の見込み

現在、用地取得は概ね完了しており、今後は出水橋上流において河道掘削や流下能力のネック部となっている橋梁の架け替えを実施する等、引き続き工事進捗を図っていく。

社会情勢等の変化

事業を取り巻く社会情勢等の変化

横市川周辺は県営圃場整備事業が完了しており、また左岸(旧川)に都城学校給食センターの供用など流域内の公共施設整備が進んでおり、資産は増加している。

一方、都城市の高齢化率は28.4%(H26.10月)であり年々増加していることから、台風時等における災害弱者の増加が懸念される。

また、平成22年7月の梅雨前線により近隣河川にて浸水被害や施設被害を受け、高水護岸をジオテキ護岸にする等計画変更を行いたい。(川づくりアドバイザー制度も活用)

災害等の発生状況

平成2年9月(台風20号) 床下浸水2戸、浸水面積約105ha

平成9年9月(台風19号) 床下浸水2戸、浸水面積約93ha

平成16年8月(台風16号) 浸水面積約40ha

環境保全に対する取り組み

横市川は、工事が完成した箇所において自然豊かな植生が再生し、野生生物の生息・生育空間となっている。今後の河川整備においても護岸を緩勾配と覆土により、植生の早期再生を図る。また澇筋を残すことにより、多様性のある水際を保全する。

事業効果の分析

費用対効果

費用対効果は、 $B/C=1.13$ である。

事業を継続することの事業効果分析

事業継続により、横市川の浸水被害の軽減が図られる。引き続き横市川の流下能力が低い箇所の整備を進めることにより、洪水被害を軽減し、安全で安心な暮らしが確保される。

コスト縮減

市道橋の架け替えにあたり、設計時に少主桁橋を選定することにより橋梁工事費のコスト縮減が図られた。

代替案の可能性

横市川は堤内地の圃場整備事業が完了し、用地取得も概ね完了している。また、河川改修は下流より順調に進められている。現在の計画では、この既設堤防を利用して河道内の掘削と一部築堤により改修する計画となっており、コスト的に現計画以外の改修案は適さないと考えられる。

対応方針

継続

位置図 (管内図)

